

# カルテ

KARTE



最近、味覚と嗅覚の感覚がなくなりました。1年前からコーヒーの香りがしなくなり、その後、苦味もなくなりました。甘味の感じ方も鈍くなったようで、今後どうなるかと不安を感じています。放置していてよいのでしょうか。喫煙は50代、飲酒は75歳でやめました。(84歳、男性)

## 味覚・嗅覚障害

高齢の方で味覚や嗅覚の低下を感じる場合、いくつかの原因が考えられます。まず加齢に伴い、嗅覚を担う鼻の粘膜や神経の働きが徐々に低下することが知られており、これにより食べ物の風味を感じにくくなります。

主な原因であることも少なくありません。嗅覚障害は一般に、①においが届かない「気導性」②嗅細胞や神経の障害による「嗅神経性」③脳の障害による「中枢性」④全身状態や栄養に関連する「その他」に分類されます。

の他、まれに脳の病気(中枢性)も鑑別に挙げられます。喫煙は中止されており影響は限定的と考えられますが、長年の影響が残る可能性があります。

味覚や嗅覚の低下は食欲低下や栄養状態の悪化につながり、生活の質にも影響します。「年のせい」と放置せず、早めに耳鼻咽喉科専門医の診察を受けることが大切です。(兵庫県医師会、松居秀敏院長) 明石市、まつい耳鼻咽喉科院長

## 放置せず鼻腔内の検査を

においては、空気中における粒子を鼻の奥にある嗅細胞で情報として受けとめ、それを嗅神経が脳へ届けることで認識されます。この仕組みのどこかに異常があると、においを感じにくくなります。

相談者のように1年前から徐々に進行する場合、慢性副鼻腔炎や鼻副鼻腔ポリープなどの鼻の病気(気導性)であるいは過去のウイルス感染による嗅神経の障害(嗅神経性)が考えられます。さらに、薬剤の影響、亜鉛不足、糖尿病などの全身疾患(そ

検査などで鼻腔内を評価することが重要です。副鼻腔炎であれば薬物療法や点鼻治療、場合により手術を行います。亜鉛不足には補充療法、ウイルス後の嗅覚障害には点鼻治療や漢方、嗅覚リハビリテーションが有効なこともあります。

「味覚が落ちた」と感じていても、実際は嗅覚の低下が

◇第1、3、4日曜に掲載します。